

新たな時代を迎える長崎伝習所

長崎伝習所は、昭和 61 年に人材のネットワークづくりと地域の活性化を目的として設立しました。その名称は、幕末に多くの人材を輩出した「海軍伝習所」、「医学伝習所」などに由来しており、長崎の活性化につながる人材育成の場になるようにとの願いが込められています。

長崎伝習所の柱である『塾事業』では、これまでに 279 もの塾が様々な活動を行い、卒業した塾生の総数は、延べ 9,708 人に達しています。

平成 30 年度は、長崎で 3 つの塾、東京で 2 つの塾が、長崎のまちづくりに関する取り組みを行いました。「ながさきドローン塾」はドローンの活用を探る先進的な取り組みであり、「街道再発見塾」は長崎の歴史の再発見を、「ネットワーク型高島地域創造塾」は地域の課題に向き合い、「和華蘭研究塾」は在京者への長崎の情報発信を、「長崎・野母半島パワースポット発信塾」は地域の魅力の掘り起こしについて、それぞれの塾が長崎の個性を活かし、それぞれの目標に向かって、調査研究に励みました。

長崎というまちには、たくさんの個性があり、それを活かし、魅力的なまちをつくろうという熱意を持った市民がたくさんいます。今後においても、長崎のまちが輝き続けていくために、熱意をもった市民の皆さんと行政が協働し、多角的な視点から研究を重ね、一緒になってまちづくりを進めていきたいと思えます。

また、長崎伝習所のもう 1 つの柱である『つながり事業』では、若者が企画の立案から事業の実施までの手法を学ぶ「活動をデザインする活動」を実施いたしました。活動の成果のお披露目会では、多くの方に参加いただき、若者の考えを共有することができました。そのほか、まちづくりや地域課題に関心を持ち、自ら行動しようとする若者を増やそうと、主に大学生を対象に、「特別講座」を開催しました。社会課題に向かい合う 3 名の社会事業家の方のお話しは、大きな時代の変化を迎える中で、若者が未来に目を向ける大変貴重な機会になりました。

長崎伝習所では、今後も様々な視点から、まちづくりのための人材育成に取り組んでまいりますので、多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

最後に、塾長をはじめ塾生の皆さまのご努力と、お忙しいなかご指導いただきました運営委員の皆さま、並びに、長崎伝習所の活動にご協力をいただきましたすべての皆さまに対しまして、心から厚く御礼を申し上げます。



長崎伝習所 総長 田上 富久

運営委員からのメッセージ



●運営委員 座長 兵働 馨

長崎伝習所の塾事業は、自分たちの住むまちをよくしようという思いを持った市民が、まちづくりに参加するきっかけづくりとして非常に有効だと思います。塾のテーマに共感したり、興味を持ったりしたとき、おなじ思いを持った市民が塾という場で一緒に活動することができるのです。そこは、仲間づくりであったり新たな活動の入り口であったりゆしみがいっぱいの場所です。皆さんも参加してみませんか？



●運営委員 岡 清香

平成 30 年度の活動を終えられていかがでしたか。活動中は様々な支障から、なかなか思いどおりにいかないことも多かったのではないのでしょうか。

しかし、その苦労を皆さんの熱意とチームワークで乗り越えられ、伝習所まつりや「活動をデザインする活動」のお披露目会において、成果を発表されたことは、皆さんの素晴らしい経験になったのではないかと感じています。今後も、この長崎伝習所で経験されたことや、築かれた多様なネットワークを活かしながら、皆さん一人ひとりが長崎のまちづくりに関わっていただければと思っています。長崎伝習所に関わられた皆さん 1 年間本当にお疲れ様でした。



●運営委員 河村 規子

長崎の町並みは色々な表情を見せてくれます。それは、このまちで様々な活動をされている方が多くいるからです。

長崎伝習所は、そのような方々を応援する仕組みの一つです。10年後、20年後の長崎がどうなっているか、誰にも分かりません。しかし、長崎伝習所を活用して、将来に種を蒔くことはできます。

今後も、たくさんの方が、この取り組みに関係し、つながることで、豊かな長崎になっていくことを期待しています。



●運営委員 尋木 章弘

平成が終わり、5月には新元号に変わります。時代は変わっても、少子高齢化や過疎化は今後、地方でますます進行。地域のにぎわいをいかに創り出していくかは住民自身の知恵に関わってくるでしょう。そういう意味で長崎伝習所が担う役割は大きいと思います。「三人寄れば文殊の知恵」。同じ志を持つ人が集まって有効に機能すれば、地域を変える力になると確信します。新時代を切り開くために、既成概念にとらわれない挑戦に期待します。



●運営委員 豊田 菜々子

本年度も長崎伝習所の活動で感じる事が沢山ありました。その中でも、活動に参加する皆さんが本当に楽しみながら自信を持って取り組んでいる姿を見たときに、日頃、自分の市民活動に対する姿勢や気持ちを確認する良い機会になっているということが自分にとって勉強になっています。地域の課題など、中には深刻なもの・思うように解決しないことも沢山あり、くじけそうなこともあります。しかし、自分たちが何か行動することで叶えられる未来を想像しながら、活動することがとても大事なことということを改めて思いました。次年度もどんな素敵な活動に触れられるか楽しみです。